

分類	No.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
インフラ・防災	1	交差点への信号の設置について	竜腹寺	竜腹寺の信号のことですが、過去に議会報告の県議会議員2名、市議会議員2名が、市の取り組みについてのこのような資料を持ってきて（資料を見せながら）、とにかく議会で印西警察に申し入れましたと、この程度で終わっているわけです。この交差点は、テレビのNHKでも放送されたような、危険な交差点です。それで何とかしていただきたいと。	竜腹寺の交差点の信号の設置についてですね。皆さん、場所はご存じでしょうか。本塙の、県道の日医大のところから印西の市役所に向かっていく県道がありますが、そこを真っすぐ行くと、途中にT字路があるんですね。そのT字路が、本塙在住の方々が非常に使われているんですよ。それで信号が付いていないんです。非常に見通しも悪いです。過去にも死亡事故が起きているような、そんな場所なんです。それで私が市内を歩いた中では、一番信号設置の要望が多い交差点なんです、圧倒的に多いんです。その次に多いのが岩戸のローソンの所です。それで今竜腹寺の交差点で奥に市道を整備しているんですけども、まだまだ時間がかかりそうなので。今市がやろうとしているのは、まずは交差点の方だけ先に信号が設置できるような形に変えるということで進めているところです。それは、今までも警察に要望してきましたが、警察や県もここに信号が設置できるような交差点にするということで、最近動いていただいている。	—	土木管理課 市民活動推進課
インフラ・防災	2	自転車が走るための道路整備について	共通	印西市が住みやすい街になったらいいなということで、一番生活に身近な自転車のこと。これが走りやすいインフラ、道路、環境があればいいということで、前市長には書面で提言書を提出しています。	自転車については、県にも申し入れをしながらですね。印西市は、本来的には自転車、つまり観光やサイクリングに可能性がある自治体のはずなんですけれども。佐倉から印西に入ってくる道路は色々な方から指摘を受けていますので、ここは生活道路ではありますけれども、少しずつ整備をしていきたいと思っています。 それから、公共交通に関係することで、私が今やりたいと思っていることは、電動アシスト自転車、電動アシスト三輪車。特にニュータウンの方々へ向けて。そこに助成をしている自治体があるんです、つくば市さんとか。そういう政策が、公共交通の補足的な手段として効果があるんじゃないかなと思って今考えています。そこは研究していきたいと思っているところですね。	—	土木管理課 道路建設課
市役所づくり	3	市役所における会議のあり方について	共通	市で行っている会議について。例えば市民参加条例で、その会議の議事録とかを読んでみると、あまりにも弊害がある。要するに、今度市長も議長になられると思いますけど、時間の関係で、シャンシャン会議が多いんですね、いずれも異議なしと。市長の時間の問題でやむを得ないのであれば、開催の前段階で担当部署との討議時間を持ってそこで結論を出してから、会議に入ってシャンシャンになるのはやむを得ないんですけども。	会議については、この中で市役所のいろいろな委員会とかの委員をやられたりとか、ないしは傍聴したことがある方ってどのくらいいらっしゃいますか。数名ですかね。これ日本の組織に共通しているんですけども、会議が非常に形式的なんですね。事前に原稿などが渡されてですね、誰が何を言うかまで決まっているっていう、国の会議でもあったりするんですね。議会も皆さんのお察しの通り、事前にお互いの原稿が決まっていたりするんですよ。でもそれやってる限りは、会議やっている意味はないので、1回会議を見直したいんですけども。全件会議を上げていただいて、本当に必要なものは何かっていうのを洗い出そうと思っています。あと会議のまわし方も、ちゃんと議論ができるような作り方をしていくことが大事だと思うんですよ。最近実は教育に関して、総合教育会議っていう会議があるんですね。これ何かっていうと、教育系、教育委員会という機関があって、教育長という人がいるんですけど、通常であれば、教育委員会が独立して教育行政をやっているんですね。ところが、さっきの学校の話、例えば原小学校であれば新しい学校を作る、環境づくりっていうのは市役所側の仕事なんです。なので、お互いの協議をする場っていうことで総合教育会議っていうのがあるんですが、これも今まで原稿があったんです。それで原稿の見直しということで、前回11月にやった時に原稿をなくしてもらったりです。私が議長なので、私が勝手に話すということを初めてみたんですね。私が予期していなかった発言も出るんですけど、ただ意外と実のある議論ができるんですね。こういう委員会に出られている市民の方、選ばれている方っていうのはちゃんとした方が多いので。ちゃんと場を作れば、ちゃんとした議論になるんですね。小さいことですけれども、そういう意識をしっかりと持とうっていうことを徹底するだけでも、だいぶ変わってくるのかなと思っていますので、これはしっかりやっていきたいと思っています。これをやっていけば変わってくると思うんですね。今って形ばかりの仕事が非常に多いと思うんですね、前例どおりにやっているとかですね。	—	市民活動推進課 企画政策課

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
市役所づくり	4	市職員の研修について	共通	市の職員を見ていると、私の目から見るとですが、自主性といいますか、活力がちょっと物足りないと見えるので提案したいのですが、ISO認証制度を、ぜひ認証を受けていただいて。そうすると、自分の仕事だけでなく周りの仕事、市全体の仕事が見えるようになってきますので。私も過去に受けてみて効果があったものですから、ぜひ提案したいなと思います。	<p>私の市長選挙の時に配布させていただいたチラシに、100何個ぐらいの政策を書かせていただいたんですけども、色々行政に関わっている身として何が一番大切なと、個別の政策ではないんです。特に行政に関わられている方にはご理解されているとは思うんですけど、結局は市役所なんですね。市役所の体制とか職員の方々ですね。</p> <p>だいぶ前向きに、創意工夫をしながら、地域の方々のために、サービスを自分たちで考えながら動くことができるかどうかということが、良い政策を全て実行することが、圧倒的に大事だということが私が思っていることなんですね。</p> <p>なので、まさに行政版ISO認証制度もあるんですけども、今職員を対象に、どういうところに皆さん課題を感じられているのか、どう変えていったらいいのかなどのアンケートを取らせていただいています。</p> <p>ただし、アンケートを取るだけでは意味がないので、しっかりとそれを進めていくような体制というか、例えば、庁内で色々な関係各部、各課の方に集まっていただいてミーティングをやりながら進めていくとかですね、そういうことをやっていこうかなと思っているところです。</p> <p>匿名で、アンケートを取って、私も市役所の方々が、いろんなことを言ってくれるのかが不安だったんですけど、結構色々なことを言ってくれるんですよ。皆さん、どこかで思っているんですよ。だけど、今までやつてきたことを変えるっていう文化がなかったりとか、例えば上司にこれを言ったら怒られるとか、何となく冷たい目で見られるとか、そんな話なんですね。</p> <p>これも、結局個人が悪いというよりは、物を変えていくような、前向きなことを言えるような組織づくりや文化づくりが大事だと思っていまして、それができるのは、結局リーダーしかいないんですね。これ全ての組織で言えることです。</p> <p>私は今までコンサルタントとして、民間企業や行政の政治も見てきましたけど、結局は組織のリーダーです。リーダーが変わって、ちゃんとこの方向でいくんだっていうことを発信し続けば、ちゃんと組織の制度が変わっていくって、その中でルールが変わっていくと私は思っているので。しっかりととした市役所づくりに向けて努力をしていきたいと思っているところですね。</p> <p>例えばですね、週に1回くらい、私が昼夜休み空いているときに、副市長と私と教育長の3人が集まって、そこに若手の職員に来ていただいて、みんなでご飯を食べながら、市役所どうしたらしいとか、悩みとかを聞かせていただいているんですね。それで実際に変わったことがありました、小さいことなんですね。今、市役所の保育課ってあるんですけど、そこって最近場所が変わったばかりなので、男子トイレと窓口が近いんですけど、そこにオムツを取り替える台がないという話がありました、結構お父さんたちが来るらしいんですよ。その話をランチミーティングで聞いた後に、副市長に相談をして動いていただいて、保育課の担当まで行っていただいて変えてもらつたんですね。小さな話なんですけど、そういうことの積み重ねなんだと思っています。</p> <p>一方で、現場の声が上がってきても、上の方がっていう話があるので、もう一つのマネジメントとして、管理職の方々をどう変えていくかというところで最近始めたのが、副市長と教育長と私の3人の定例の会議を1週間に1回やっているんですね。色々な事業案件について、その場で進捗含めて議論するということを徹底してやっていくと。</p> <p>それから最近始めたのが部長以上です。部長以上の方々に2週間に1回集まっていただいて、主要な案件についてはどうなっているかという話をさせていただいている。</p> <p>それから、半年に1回くらいになってしまいますが、市長講和じゃないですけれど、私の考えを係長以上の管理職の方々に、1時間くらいかけてお伝えするような、そういう場を取らせていただいてたりしています。</p> <p>どうにかそういうことも進めながら、1つ1つの政策を、今日上げていただいたものはしっかりと進めさせていただきたいと思っているところです。</p>	—	人事課
市役所づくり	5	市役所づくりについて	共通	市役所づくりのことですが、市役所と市民をつなぐための市のホームページってありますよね。市役所職員の中にホームページを読んでない人が多く見受けられていてですね。なので、市役所に行くとホームページに書かれていることではなくて、専門用語で説明してごまかす。ホームページは、時間をかけて見ていったら、どここの課がどういうことをやっているのか分かるっていうような、市民と市役所を連絡するものなんですね。市の職員の方には、ホームページのせめて自分の部署のところくらいは見ておいてほしいなと思っています。	広報は、私まだまだできることがたくさんあると思っています。まず、ホームページやSNSでの発信も含めて政策性を持ってやっていくためには、民間の方のほうが詳しい方が多いので、市政アドバイザーというアドバイザーモードを、来年から導入しようと思っています。その中で、広報、PRについても、外部の方のお知恵をお借りしようと思っています。	—	人事課 秘書広報課
	6	救急医療について	共通	病院についてですが、救急時に市内の病院に行くと受診を断られることが多いです。そうなると我孫子市や成田市など、市外の病院に行かないといけなくなります。印西総合みたいな病院が作れないか。	医療ですが、救急は本当におっしゃるとおりで、まず市としてやろうとしてるのは、日医と印西総合病院をしっかり支えることからかなと思っています。成田市や八千代市あたりと比べると、印西市は救命救急への助成金額が低いんですよ。日医も印西総合病院も救命救急について赤字でやっていただいているんですね。なので、基幹病院については私もまだ勉強中ですので、しっかりと勉強して、これというものができ上ったタイミングで回答させていただきます。	—	健康増進課
医療・介護・健康・福祉	7	介護福祉における問題について	共通	介護の現場で働く職員さんがすごく疲弊しているのでその問題も何とかしてほしいです。	介護職については、おっしゃるとおりですね。実は、この地域別対話会の他に、職種別対話会も開催させていただいていて、その中で最初の方に地域包括支援センターのセンター長の方々と行いましたが、まさに同じことをおっしゃっていました。	—	高齢者福祉課

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
インフラ・防災	8	公共交通（バス事情）について	小林・牧の原	小林と印西牧の原の間で、バスの本数を増やすとか、何か方法はないかなと思います。	公共交通の話ですが、今印西市では100円で乗れるふれあいバス、さらにいうとご高齢の方々はタダで乗れるフレアイカがあります。一方で民間のバスが何本か走っていて、千葉ニュータウンを走っているバスの他、印旛地区、一部本塙も通っていますけど、あるわけですね。どうしてふれあいバスが小林から牧の原の間走れないかというと、民間のバスが走っているからですね。こういう公共交通を考えるときに、一番最初に優先されるのは民間事業者さんなんですよ。まずは自分たちの採算を取っていただいて、自分たちで自主的に運営できるようなところが優先されて、そういうバスが通れないところは、ふれあいバスを通すということを今やっているんです。ただ、これがかなり限界を迎えていまして。印西の場合、ニュータウンの周りに在来地区があるので、その路線バスのスタート地点にあまり人が住んでいなかったりするんですね。だから、印旛管内の民間のバス会社さんはみんな赤字なんですよ。市が裏で補助金を出しています。さらに言うと、京成グループは5社ぐらい持っているんですけど、先日社長が市役所に来られまして、採算性は下から2番目と言っていました。ほぼもう赤字になりかけていて、非常に厳しいんだと思うんです。なので、今どういう公共交通のあり方が良いのか考え直す時期が来ているのかなと思っています。	—	交通政策課
インフラ・防災	9	高齢者の移動手段について	共通	もう90歳以上になるんですが、ちょっと膝が悪いんですね。そこで医療関係のこと、特に病院に通うためのお願いといいますか。木下東のところにバス停があるんですが、家族がいるときはバス停まで送って行ってもらえるのですが、家族が仕事などでいない時は、膝が悪いので、自分1人ではバス停まで歩いて行けないんです。何か方法はないかなと思います。	さらに言うと、今本塙地区では、タクシー券の助成をやっているんですね。それを来年度から少し、いわゆる市街化調整区域の全区域に広げられるように、今調整をしています。そういった手段も織り交ぜながら、もう1度何が次の時代の公共交通に必要なかということを考えながら、来年度に公共交通計画を作りますので。それは、外部のコンサルを入れずに自分たち職員で作ろうという話をしています。あと10年待っていただければ、自動運転車が普及するんですよ。そこまでくれば100円でどうにか行けるようになりますから、そこまでしっかりと支えていくのが行政の役割だと思っています。	—	—
インフラ・防災	10	千葉北西連絡道路の整備について	共通	今計画されてる千葉北西連絡線路、こちらにぜひインターの誘致活動を、今からでも市長を中心にぜひ強力に進めて欲しいとお願いしたいです。印西市内から30分以内で乗れるインターを造っていただきたくお願いします。	16号バイパスの問題はですね、縦に走っている国道ですね、これが今慢性的に混雑していまして。千葉県は横の道はつながっているけど、縦の道はつながっていない。ただし印西市の場合は、北千葉道路にもつながっていないし、縦にもつながっていない、非常に不便な場所なわけです。その上で、この16号バイパスといわれている、その上から下を通す道路です。これ非常に重要な道路になります。私もですね、今まで県や特に国と仕事を機会が多かった人間もありますので、しっかりと国政、そして一端ながらこの誘致に動いていきたいと思っています。	—	道路建設課
インフラ・防災	11	道路の整備について	共通	自転車が走りやすいということ、それを考えるには、子育て、医療、防災、全てが関係してくるんですが、そういうことで今新しい道路を作るっていうのは予算的にも、場所的にも無理があると思うんですが。現在の道路のキャバを最大に上げることが必要で、この話をすると、市役所の方は多岐の部署にわたることになりますけど。それから道路のことについては、どんな計画でもなかなか触れないんですよ。例えば、今度作っている第三次計画とかで、道路環境に触れているのは1行か2行だけなんです。本当は自転車、運転者、それとルールなどが変わっていくかないと、絶対自転車が走りやすい道に現状ではならないということを言いたいです。	おっしゃる通りですね、ご指摘の通りでして、道路でいうと、例えばその道路そのものを整備する方々、道路の側溝を整備する方々、土などを整理する方々、あとは横の木とかですね、民間のお家に入っている木などを対応する方々。実は市役所の中でみんな密接なんですね。これに横ぐしを通せるのは市長しかいないんですね。なのでいただいたご意見を持ち帰って、対応を検討させてください。これはなかなか結構根深い問題です。民有地の木を勝手に切っていいのかなど。	—	土木管理課 道路建設課
地域づくり	12	ゴルフボールによる打ち込み事故について	共通	市内にはゴルフ場がありますけど、その周辺ではゴルフプレーヤーから、場外の道路や土地にボールが打ち込まれています。ボールがゴルフ場の外の道路に飛び出したりするんです。ボールが人に当たったりすると大変なことになるので、そのあたりの安全を確保する方法はないのかということです。	ゴルフ場の話は市に持ち帰って確認します。	市内のゴルフ場について、ご発言のような事実があることは把握しています。ゴルフ場からの飛来球を防止する責務は、一次的にはゴルフ場の運営会社にあるものと理解していますが、市においても、道路管理者として、道路の通行の安全上の支障が発生しないよう、状況を注視し、必要に応じてゴルフ場の管理者に働きかけているところでございます。このような働きかけの結果、ゴルフ場運営会社により、防球ネットを建設するに至った場所もございます。市は、道路バトロールなどを通じて、今後も状況の把握に努めてまいりますが、お気づきの点がございましたら、土木管理課へご連絡を賜りますと幸いです。	土木管理課

分類	No.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
地域づくり	13	滝野公園における美化活動について	滝野	滝野公園にゴミ箱がないので設置してほしいです。また、公園内には落ち葉が多いので、落ち葉拾いの運動を小中学校の協力でできないでしょうか。	滝野公園のゴミ箱の話は、市に持ち帰って確認します。落ち葉拾いの件は、教育委員会や教育長と相談しますので少しお時間をください。	公園内のゴミにつきましては、排出者が持ち帰ることを原則としています。ゴミ箱を設置した場合、モラルが守られた使われ方であれば、適正に管理することができますが、守られないことにより、ゴミが増加し周辺の環境も悪化することが考えられるため、市が管理している公園にはゴミ箱を設置していません。なお、公園管理の委託を発注し、月に4回、ゴミ拾いを行っていますので、ご理解ご協力ををお願いいたします。	都市整備課 指導課 学務課
地域づくり	14	ナガエツルノゲイトウ（特定外来生物）について	共通	ナガエツルノゲイトウを見つけた場合は、千葉県生物多様性センターに相談してくださいとなっているので相談するために電話したら、市町村で対応していると言われました。そのところがどうなっているのか聞きたいです。	ナガエツルノゲイトウは、印旛沼に繁殖している外来種の水草っていうんですかね。農業をされている方々って、印旛沼の水を使っていると思うんですけど、それで問題になっていまして。こちらも市に持ち帰って確認させてください。私もこの問題は認識しているんですけども、言っていただければ取りに行くのか、またはクリーンセンターに持つて行って焼却するのかのどちらかかなと思いますので。	ナガエツルノゲイトウについて、周知・啓発は主に生物多様性センターが行っており、お問い合わせの窓口も同様です。しかし、ボスターやリーフレット等に記載してあるとおり、発見した際には原則として土地の管理者が対処を行うこととなっており、ご相談していただいた場合の管理者が市町村や市民の方である場合には今回の回答をされることもございます。個人で駆除を行う際には、取り除いたものを袋に入れ、枯らしたのち自治体のごみ処理方法に従い処理を行うことができます。なお、駆除を行う際に特別な手続き等を行う必要はございませんが正しい処置をしなければあえて拡散させてしまう恐れもございますので県で取り扱うマニュアルなどを参考に行ってください。市では、ナガエツルノゲイトウに関する県からの情報について、HPで掲載をしていますのでご確認ください。	環境保全課
地域づくり	15	北千葉道路のゴミ対策について	共通	若萩地区から来ました。北千葉道路ゴミがすごくて、県の管轄かと思いますが、何とかならないかなと思いまして。	これは一番言われていて、先程の道路のゴミの問題も関わってくるところで、まさに先日別の会場でも、全く同じ意見がありまして、担当課と今相談してるとこなんですね、何か打開策がないかと。実は市では今こういった対応費用を増やしているところなんですねけど、県がですね、県道ってたくさんあるじゃないですか。印旛土木という出先の機関が対応してくれていて、ゴミとか草刈りとかですね。印旛都市全部で年間1億5000万円くらいの予算です。それで印西市が市道に使っている金額よりもだいぶ少ないです。なので、県が今お金がないのでどうしようかなということを市役所内部で話しています。それで今ボランティア制度ってあります、ボランティアで綺麗にしてくださった事業者の方々には、入札の時に少し考慮するとかという制度があったりするんですね。そういうことをうまく使いながら、これまでのようく要望を上げていただいて予算を集めてもらうやり方だと限界がきているのかなと思っていまして、少し違うやり方がないのかなと思い、勉強しながら担当課と議論を進めているところです。	—	道路建設課
地域づくり	16	イノシシの駆除について	共通	イノシシの問題です。例えばイノシシが車とぶつかったりして事故が起こったりしているので、何とかならないかなと思いまして。	それからイノシシですけど、イノシシ見たことある方ってどのくらいいらっしゃいますか。年間1,000頭以上捕獲されていますね、印西市で。それでもどんどん増えているんですよ。私の家の近くにもたまに出るので、私の家の近くに来ると公用車はスピードをゆるめるという。それで、たまに親とウリボウっていうんですかね、子ども10頭くらい引き連れていたりで。それで非常に繁殖力が強いので、非常に困っているところです。これを今、ハンターの方々にいろいろと対応していただいているけれども、そろそろ地域で対応していかないと難しいだろうということで、今岩戸地区ですかね、鳥獣対策班を地域で作っていただいて、10数名の方々で一緒になりながら、イノシシ対策をしていただいているところです。それで、このハンターをやっていただいている方々って、副業というか、なにかボランティアでやっているので、いろいろな制限があるのかなと思っています。あともう1つは、市役所の側も当然職員の方々にも頑張っていただいているんですけども、イノシシ対策をちょっと極めるような職員を育ててこようかなと今ちょっと思っているところですね。それをやって、それでもなかなか減ってはいかないかなと思うんですけども、ちょっとそこは予算を増やしますし、体制を少し強化する方向で今考えているところです。これ結構、ニュータウンに住んでいる方々にはピンとこないところが多いかもしれませんんですけど、これはすごい大事で、子供たちが例えば通学するときに、自転車で走っていたら目の前に出てきて怖いとか、あと農作物、イノシシたちは収穫直前に食べているんですね。だから、せっかく収穫できると思ったらイノシシに食べられていたとか、お米とかだと臭いが付いたら出荷できないとかで、非常にモチベーションも下がるというところもありますので、これは、まずは体制を強化していくかなと思っていますが、なかなか根本的な解決策がないことの1つではあります。	—	環境保全課

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課	
教育・子育て	17	学童の運営について	牧の原	来年4月から孫が小学校に入学するので、学童を使わせていただく予定です。牧の原小の保護者の方々と話をすると、学区変更がどうなるとか、どうして自分の子は滝野小に行かなければいけないの、などの声が上がっています。やはり子供を育てていくということがち大切ではないかなと思っています。 また、小学校の他にも、学童の問題がありまして。学童へは希望者が全員入れるわけではないということで、民間の学童さんもたくさん稼働していらっしゃいます。それによって、学童の格差もたくさん出てきますし、その辺は安心して働きたい親が多いので、安心して学童に入れる学童の規模と、学童の質や職員の質も含めて、どう市として対応していかれるのか、注視していこうと思っています。	学童はおっしゃるとおりで、特に牧の原小学校の周辺ですね。中学生の方々の中で、滝野中と西の原中とで兄弟で違う所に通われているとか、宗甫地区の方々が木下小へバスで行かれているとか、牧の原小が目の前にあるのっていう。なかなか、今うまくいっていないというところがあるんですけれども。学区については、もう1回市に持ち帰って確認します。 学童については、来年度またいくつか増設を予定しているところです。一応、1年生から3年生くらいまでであれば、入れるような数かなとは思っているんですけど。ただ増やしていくかないといけないと思っています。 今まででは学校とは別で学童を作っていることが多かったんです、学校の敷地内に。土地空いているじゃないですか。それでなんでそれが進まないのかっていうと、教育委員会と学童やっている担当が別だったからです。なので、来年度からは、教育委員会の中に学童の担当を持っていこうと考えています。その上で、考えているのが千葉市などが行っている、学童に行きながら習い事ができるということです。 もともとモデル校1校だったものを、市内の全校に広げるということをやっています。印西でもゆくゆくはやっていきたいと。それでそこまでいくと、階級格差っていうものが問題になってくるわけです。お父さんお母さんが習い事に通わせられるような、その足を持っていない、お父さんが仕事しているから習い事に通わせられないとか。そういう階級格差といわれているものをなくす上でも、学童に行きながら習い事ができるという、どうにかこれを私が市長のうちに、市内の全校に入れられるようにということで今考えているところです。	—	—	保育課
教育・子育て	18	学区の見直しについて	共通	最近では、小規模校がだんだんなくなっているんです。永治小、草深小などもなくなってきて。小さい学校がなくなると、その地区に子どもがいなくなると。また他にも、例えば印旛中には旧本塙地区の中学生が自転車で1時間近くもかけて通っていたりするんですね。そういう状況を何とかできないかと思いまして。	—	学校につきましては、小規模化・大規模化によって生じる教育指導面・学校運営面での諸課題を解消するため、適正規模・適正配置基本方針を定め、取り組みを行っています。 通学につきましては、通われている学校がお子様の学区の指定校であれば、印西市スクールバス安全通学基本計画で定めた運行基準に基づく通学距離以上（小学校3km、中学校5km）となる場合、スクールバスの運行や、また、路線バスが利用できればその通学定期の補助を行っています。 ご意見にあります、旧本塙地区から印旛中学校への学区外就学の場合、指定校ではございませんので、申請において保護者様にご説明し、通学の安全を確保していただいたうえで学区外就学許可をお出ししているところです。 以上のような状況ですので、ご理解をいただきますよう、お願ひいたします。	学務課	